

# 地域づくり トピックス

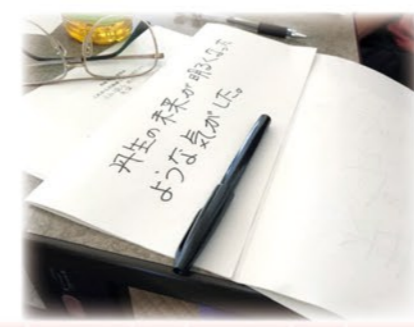
地域づくり協議会主催 地域づくり座談会

妙義・高田地区と丹生地区で、各地域づくり協議会主催の地域づくり座談会を開催しました。両地区とも全3回にわたって開催し、多くの地域住民に参加してもらいました。

高崎経済大学の櫻井常矢教授とゼミ生の協力のもと、参加者の皆さんが自分たちの暮らす地域について「本音」で話し合っていた様子が印象的でした。

## 座談会で出された意見

- ▼住民一人ひとりが困りごとに目を向けて互いに助け合うことができないだろうか
- ▼もっと世代間の交流を大切にしていきたい
- ▼地域をより良くするために、世代を超えた話し合いの場をつくり、若者も巻き込んで色んな意見（本音）を言い合いたい。



問い合わせ 地域づくり課  
(☎内線1253)

## 市内の歴史的建造物

第24回

### 富岡倉庫 11

1900(明治33)年に倉庫業・倉庫賃貸業として存続20年をめぐりに設立された富岡倉庫株式会社は、3年後には金銭貸付業を加えて営業活動を広げました。09(明治43)年には倉庫業・金銭貸付業・委託販売業と精米業まで加えた事業を展開しましたが、12(明治45)年には倉庫業・委託販売業・精米業に縮小しています。このように度重なる業務の変更をしなければならなかった理由については資料が残っていませんので明らかではありませんが、限られた富岡地域での営業活動はなかなか順調にはいかなかったことを示していると考えられます。

その後の富岡倉庫の業務を『昭和10年貨物出入帳』で見ると「本蘭・玉蘭・中蘭・雑貨」とあるのが倉庫業のみに絞られ、生繭を預かり備え付けの乾燥機で乾燥した後、その繭を保管していたようです。

現在3基の乾燥機が残されていますが、いずれも帝国式乾燥機械製作所製の自動輸送汽熱式乾燥機と呼ばれる物で昭和30年代初頭に導入した物のようです。この頃は、わが国の生糸輸出が最も多い時期でしたので新式の乾燥機を導入する必要があったと思われる。

しかし、その後10年もたたない昭和40年代初頭から生糸輸出は激減を重ね、87(昭和62)年3月には富岡製糸場も操業を停止する状況が生まれたのです。外国の安い生糸が大量に輸入されたことなどが大きく影響したのでした。



富岡倉庫北側 (1月15日撮影)

(富岡製糸場総合研究センター所長 兼富岡製糸場名誉顧問 今井幹夫)

### 婚活支援事業

## タイムスリップ婚活 in 富岡製糸場

2月23日(土) 開催

～明治時代に童心気分～

### ご好評をいただいた和装婚活 第2弾!

和服に身を包み、富岡製糸場で新しい出会いを見つけませんか。おいしい軽食を用意してお待ちしています。(協力：治田呉服店)

問い合わせ こども課 (☎内線1162)



- 日時 2月23日(土)、午後0時45分～4時30分
- 会場 富岡製糸場
- ※集合は、富岡市役所
- 対象者 20歳～39歳の独身男女
- ※男性のみ市内在住か在勤費用 ▼男性2500円 ▼女性1500円
- 定員 各5人(先着順、最少催行人数は各4人)
- ※結果はEメールで連絡
- 申し込み 2月18日(月)までに、Eメールで必要事項(住所・氏名(ふりがな)・性別・生年月日・メールアドレス・携帯電話番号・男性で市内在勤の場合は勤務先)を記載し、こども課(kodomo@city.tomioka.lg.jp)へ。
- ※迷惑メール対策をしている場合は、アドレスかドメインからのメール受信を許可する設定をしてください。

check!



※詳しくは市ホームページをご覧ください。

## Bonjour / ダミアン

フランス人ダミアンの連載!

Vol.6

### 国際交流員コラム 富岡製糸場のフランス人の声

日仏交流160周年を記念し、日本政府が芸術の都パリを中心に約8カ月にわたり開催している大規模な文化芸術事業「ジャポニスム2018」響き合う魂が今月閉幕となります。ジャポニスムというのは、日本の浮世絵など19世紀後半の西洋美術に多大な影響を与えた日本趣味のことをフランス語で表現した造語です。フランスでは今、日本の漫画やアニメなどが若者の間で大人気です。世界最大級の日本文化の祭典「ジャパンエキスポ」が毎年パリで開催されるのも、その最も顕著な例でしょう。

こう述べています。「フランスと日本は広大な空間に隔てられ大陸の両端に位置しているため、互いに背中を向けているかのように見えるかも知れない。しかし二つの国は同じ運命を共有しているのだ。」

フランス人文化人類学者のフロード・レヴィニーストは

「ジャポニスム2018」響き合う魂にぴったりのフィナーレではないでしょうか。

